

2020年8月11日

会 員 各 位

一般社団法人東京都卓球連盟
会 長 小 川 敏 夫

「TOKYO OPEN 2021 第73回東京卓球選手権大会」
開催中止に伴うお詫びと今後の対応について

平素は本連盟の事業にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度は、新型コロナウイルス感染症拡大で事業運営に支障をきたし、会員各位には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

100年に1度と言われる全世界に及んでいるコロナ感染症、未だ収まる気配が感じられません。コロナ禍、日本国内は経済、文化など感染症拡大防止対策を取りながら「新しい生活様式」を国民が遵守し、全ての面で活動しています。

区市町村の体育館などの運動施設も制限はありますが、開放され練習をされている選手がいると見受けられます。本連盟もスポーツ庁、(公財)日本卓球協会の発する「大会再開に向けてのガイドライン」に沿って、東京都の指針、各体育館施設の利用条件に従い、前期リーグ戦を開催しましたが、残念ながら、多数のチームが棄権されました。開催につきまして様々なご意見をいただきましたが、参加者の皆様からは健康状態申告書の提出、大会ガイドラインの遵守、3密状態の回避等で感染防止にご協力をいただき、大会をさせていただいております。棄権されたチームのお気持ちは理解できますが、本連盟といたしましても感染症防止対策には、役員が一生懸命対応しておりますことをご理解ください。

さて、後期の事業計画では東京卓球選手権大会の予選会、本大会とございますが、「TOKYO OPEN 2021 第73回東京卓球選手権大会」については感染症の収束が難しい現状で、大会運営スタッフを増やし、感染防止対策を徹底して万全に対応しても、全国から東京にお集まりの選手・関係者、迎えるスタッフの安心・安全を確保することが難しいと判断いたしました。

また、代替大会として東京登録の会員様だけの大会も思案しましたが、会場である東京体育館の照明に問題がございます。オリンピックの延期により、2021年3月の大会についても2020東京オリンピック・パラリンピック仕様のままで使用することになります。現状の照明では、フロア全体に平均的な明るさが行き届かず、暗い部分があり、コートによってはまともに照明が目に入るため、公平性に欠けることがわかりました。例年のようにプレー出来る環境ではなく、そのような施設環境で試合をしていただくのは失礼に当たると判断いたしました。

従って、新型コロナウイルス感染症拡大並びに施設環境から判断し、誠に残念ですが、昨年度に続き開催中止とさせていただきます。

本大会の開催中止に伴い、11月から行う全ての予選会も中止とさせていただきます。尚、予選会の会場については、各体育館の利用制限があり、大会が限定されますので、前期のリーグ戦同様に分散し後期リーグ戦に充当する予定です。

事情をご賢察の上、何卒ご理解お願い申し上げます。